

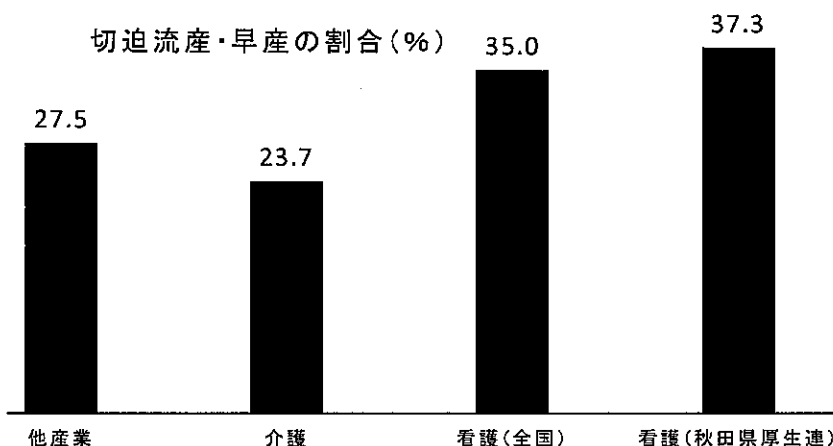


# 秋厚労ニュース

NO1817号  
2018年1月18日  
秋田県厚生連労働組合  
秋田市山王5-4-2  
TEL 018(864)3341  
FAX 018(864)3349

# 切迫流産・早産 秋田県厚生連 4割

医労連「2017年看護職員の労働実態調査」



日本医労連が昨年5月に実施した「2017年看護職員の労働実態調査」には、全国の33402人(秋田県厚生連931人)が回答。結果は9月の記者会見のほか、秋田県医療研究会や全厚労幹部看護師集会以報告されました。

全国で見ると、約7割が慢性疲労や健康不安を感じています。鎮痛剤やビタミン剤などの薬を常用する人は前回調査(2013年)よりは前調査(2013年)より16ポイント増え、74.5%に達しました。

7割が慢性疲労や健康不安を感じている

年休取得9日以下が7割

秋田県厚生連で、年次有給休暇を9日以下しか取得できなかった人は、67.4%。全国の48.9%に比べかなり高い割合です。残業も日勤・準夜・深夜のうちほとんど勤務形態で増加しました。

看護職に多い

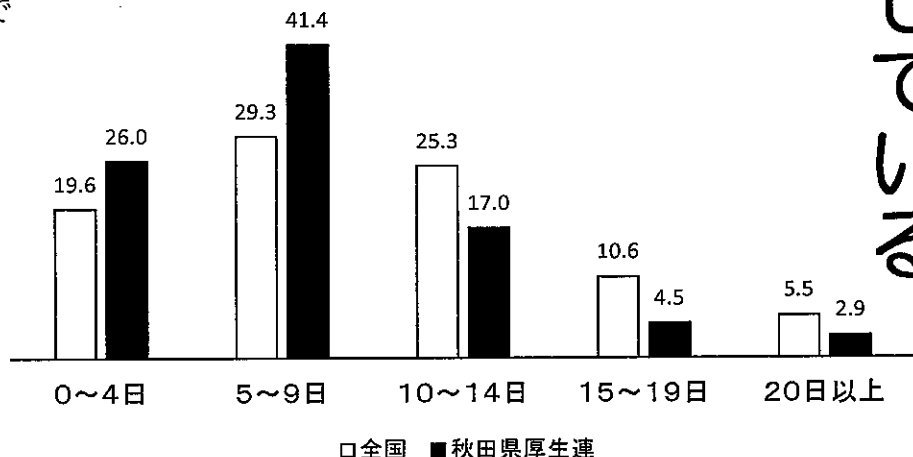
切迫流産・早産

妊娠時の状況(秋田県厚生連)は、前回調査より「順調」が12ポイント増えるなど改善も見られます。し

妊娠時の状況(2014年4月以降に妊娠した人、複数回答、%)

	全国	秋田県厚生連
順調	26.4	32.2
つわりがひどい	42.0	43.2
貧血	23.9	32.2
切迫流産	30.5	32.2
早産	4.5	5.1
流産	10.0	11.9
死産	0.6	0.8
出血	14.1	11.0
むくみ	25.2	23.7
蛋白尿	10.7	8.5
妊娠高血圧症	4.2	4.2

例年の傾向でもありますが、全国的に他産業や介護職員に比べて看護職員の切迫流産・早産は多く、年々増えています。その中でも秋田県厚生連では、全国より高い状態が続いています。2010年の調査で「切迫流産」は41.1%でしたから、7年経ってもあまり減っていません。



妊婦さんが走り回って働く

現場では「産休の補充がない」「妊婦さんが走り回って働いている」「育児休暇を早めに切り上げる」実態も。休みの取りづらさや

長時間の過酷な労働が、母性を危険にさらしています。職員全体の疲弊・離職にもつながり、「新人が入っても人手不足が改善されない」悪循環を生み出しています。この流れを断ち切る必要があります。